

都連盟ニュース

No.358



神田山の会 大江さん提供

今月号の目次

- ◇ 冬山シーズンにあたって 安全対策推進部より P2
- ◇ 海外登山交流集会のお知らせ P3
- ◇ 山の用具とその歴史 報告 P4
- ◇ 山岳会紹介「めぐろ山学クラブ・仲間」 P5
- ◇ 地区連盟活動「多摩東部地区交流ハイキング報告」 P6
- ◇ 第24回関東ブロック自然保護交流集会報告 P7
- ◇ 「東北震災復興支援ボランティア活動」に参加して P8
- ◇ 地区連盟活動 東部地区連盟「ハイキング学校」案内 P9
- ◇ 理事会 報告 P10
- ◇ 事故一報／トピックス(栄誉功労賞／11月会員数報告／海外委員会／三陸ワカメ) P11
- ◇ 都連盟日程 P12



東京都勤労者山岳連盟

〒162-0814 東京都新宿区新小川町5番24号

Tel & Fax 03-3260-0372 *E-mail twaf@twaf.jp URL <http://twaf.jp>

発行責任者 上平 久治 編集 陶山 正

連盟費納入振込先

【三菱東京UFJ銀行】都立大学支店 店番 111 普通：0280855 口座名：東京都勤労者山岳連盟

【ゆうちょ銀行】00160-6-539150 口座名：東京都勤労者山岳連盟

冬山シーズンにあたって

(安全対策推進部からのお願い)

冬山シーズンになりました。気象庁によりますと、今年の冬の長期予報は、降雪量は東・西日本では冬型の気圧配置が長続きせず、東日本の日本海側では少なく、西日本の日本海側では平年並か少ないとのことです（9月25日気象庁地球環境・海洋部発表「冬の天候の見通し」＜12月～2月＞）。しかし最近では地球温暖化の影響で天気が“過激”になっており、いつ大きく乱れるかわかりません。また冬山でも時として雨になり、濡れて低体温症になる恐れもありますので、雨対策も必要です。事前に天気予報を十分確認し、無理な山行は避けるようにしましょう。

都連盟では過去3年間、冬季（12月～2月）に次のような事故が発生しています。

期間	原因					
	雪崩	転・滑落	病気	凍傷	その他	合計
2012/12～2013/2	1件	6件			1件	8件
2013/12～2014/2		7件	2件		2件	11件
2014/12～2015/2		6件		1件		7件

この内、2013年1月に剣岳で2名（45歳男性・33歳女性、雪崩）が、2015年1月に奥多摩で1名（60歳男性、転落）が亡くなっています。

冬は雪崩や悪天候による低体温症など独特の危険があり、その予防のための学習と準備が必要であることは言うまでもありませんが、雪の少ない山域での縦走やハイキングでも、氷結によるスリップや降雪による道迷い（無雪期と比べて風景が一変することがある）などの危険が生じます。

新人は経験者に学び、経験者はマンネリに陥らずに気を引き締めて、事故のない冬山を楽しみましょう。



海外登山交流集会(日本勤労者山岳連盟)

東京都連盟海外委員会主催(全国連盟後援)

全国の登山会員の海外山行計画は毎年300件以上提出されています。海外状況の情報交換と親睦を目的に交流集会を下記実施します、ふるって参加ください

日時:2016年2月4日(木) 18:00~21:00(終了後懇親会)

場所:勤労者山岳連盟事務所1階会議室

参加費:500円(資料代)

プログラム案

1.2015年の登山会員の海外登山の状況報告

2015年1月~12月の山行計画の集計

2013年、2014年の山行結果

2.海外登山報告

(1)ネパール・ヒマラヤ

大地震の影響とその後の状況

(2)クライミングの傾向と動向

最近のフリークライミング地域情報

(3)トレッキング状況

3.その他

連絡先:五十畑 茂(いそはた しげる)

Tel:080-5099-3178

shigisohata48@i.softbank.jp

shigisohata@mac.com

所在地 〒162-0814 東京都新宿区新小川町5-24

Tel : 03-3260-6331 Fax:03-3235-4324

E-mail : jwaf@jwaf.jp



JR・地下鉄 飯田橋駅 下車 徒歩10分
飯田橋駅から目白通りを江戸川橋方面へ歩いて大曲バス停前のコンビニ(ローソン)の角を曲がり約50m歯科医院の角



全国連盟西本会長講演会『山の用具とその歴史』

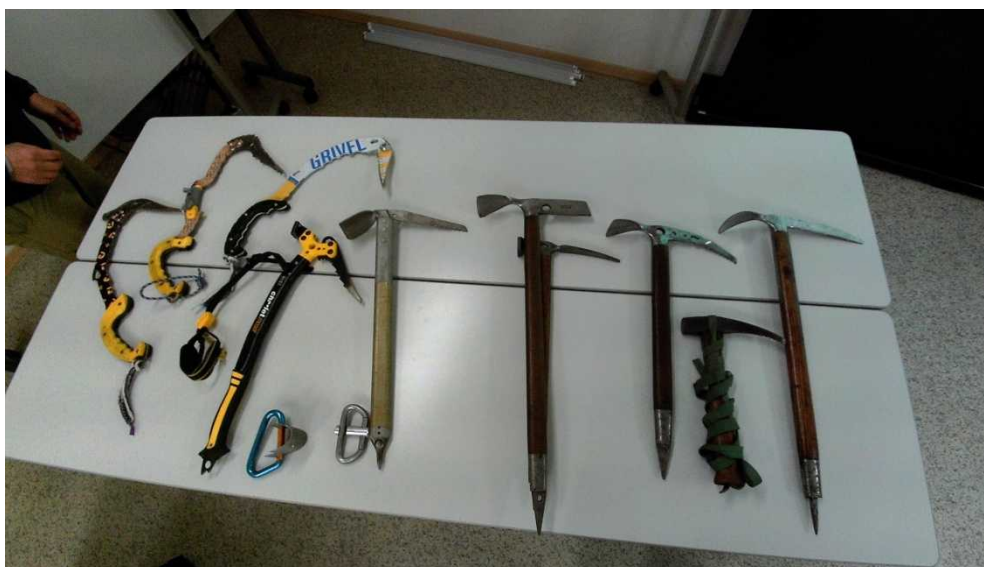
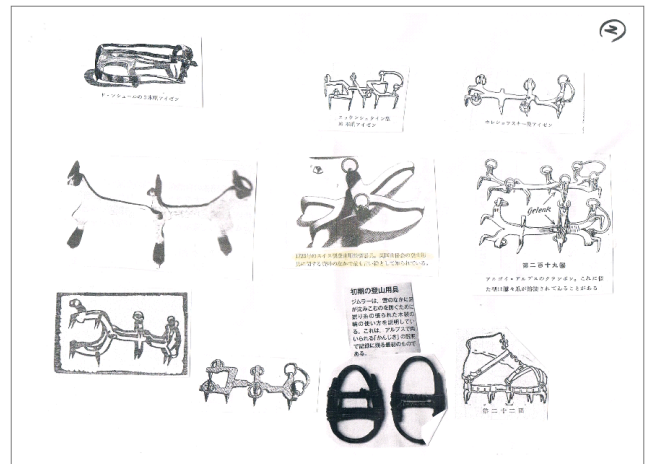
理事 小幡

前回の「登山の歴史・労山の歴史」の講演会が好評だったため、今回は第二弾として「山の用具とその歴史」の講演会が11月16日（月）に全国労山事務所にて行われました。

皆さんが山に行く際、当たり前のように使う用具（道具）にはどのように生まれ、そしてどのように進化していったか、分かりやすくスライドショーを交えながらの講演会は内容の深いものでした。登山の文化は用具と共に発展し、今日に至ってはクライミングなどにも大きな影響を与えてきました。軽く、扱い易くコンパクトに収まる用具の進化によって多様な登山スタイルが生まれ、さらに進化し続けています。

今回は当時のものから現在の用具としてピッケル、アイゼン、確保器なども展示され時代の変遷もよく分かり、参加者の方々も興味深く話を聞いていました。

しかし前回よりも参加者が少なかったのは、都連盟としてまだまだ宣伝不足な所はありましたが、「人と山にも歴史あり」を念頭に今後も講演会を続けていきたいと思いました。



『山岳会紹介』

『めぐろ山学クラブ・仲間』創立50周年記念パーティー

理事 小幡

11月15日（日）都内のホテルにて「めぐろ山学クラブ・仲間」の50周年記念パーティーが行われました。O.Bの方々を含め総勢40名ほどの参加があり、皆さん懐かしさのあまり個々スピーチの時間には、いろいろな思い出話をされて会の歴史の重みを感じる事が出来ました。

なかにはケーナ（南米の楽器）の演奏を行ったり、山の歌を全員で合唱したり、料理も美味しく頂いて内容の濃いパーティーとなりました。

以前は「目黒勤労者山岳会」という名前から、固いイメージからの脱却を図ろうという思いから生まれた現在の名前は、時代を反映している様な気がしました。確かに最近の山岳会の名前を聞くと多種多様で、私も知らない“横文字”もあるくらいです。

50年も続く歴史と伝統のある山岳会ですが、会員数を伺ったところ15名ほどで、今回の参加者の半数にも満たないのが現状です。会員数の増加、新人の育成など「山岳会」としての悩み所はどこも同じで今後、私が所属している都連盟組織部の大きな課題でもあります。

ただ、こうして皆さんが久々に集い盛大に記念式典をする事が出来た事が一番大切であり、時代の波にうまく乗りつつ、こちらの「めぐろ山学クラブ・仲間」をお手本に、他の山岳会も50周年、もしくはそれ以上を目指していきたいものだと実感しました。



「地区連盟活動」

雨が遠慮 扇山・とみんハイク 多摩東部地区連盟 2015年11月8日

多摩東部地区連盟は一般公開ハイキング(「とみんハイク」と呼称)を毎年11月の第二日曜日に開催していて、今年は扇山とした。四方津から富士急山梨バスで犬目ー扇山ー鳥沢のコース。当初は70人余りだったのでバスは定時便に増便で対応の約束を取ったが、人数減で大型バス1台となった。他には乗客は無くて貸し切り状態だった。



犬目からの登山道は小広くて、勾配も適当で歩き易かった。萩ノ丸からの尾根道に出る辺りからカエデの紅葉、ダンコウバイの黄葉が目立ち、他の広葉樹、カラマツもと秋色を楽しみながら登った。モミジは扇山の東側では緑色が多かったが、西側は紅葉していて、大久保山との鞍部付近が特に綺麗だった。山頂では各会用意の汁物を楽しみ、大降りにならない前にと早めに下山とした。

山は天候に左右される。金曜日に決行の判断をしたが、その後予報が悪い方へ変わって行って、前日夕方の予報は朝から雨となった。公募は雨天中止としていたので一般参加者は25人から6人に減った。「所属会には雨天でも行く」としていたものの参加減を心配していたが、ほぼ予定の会員が参加して全体で約50人となり、仲間の協力が嬉しい限りだった。

心配だった雨だが、登りでは雨具が要らない程度の降り、昼食時に雨具が必要ただけで、梨ノ木平からも弱い降り、傘を差してノンビリの舗装道路歩きだった。去年は笹子雁ヶ腹摺山を雨で中止だったが、「今回は行く」と決めて、参加者全員の熱気に雨雲が遠慮してくれて、曇天でも和やかで楽しい山行だった。



来年の話をするとう鬼が笑うと言うが、春と秋の公開ハイキングは好天にしたい。

参加団体：北多摩山の会 山座会 グループ・どっぺる むさしの山の会、
ふくろうハイキングクラブ (記 事務局 萩原)

第24回関東ブロック 自然保護交流集会 in 群馬 に参加して

2015年10月17日～18日 群馬県立妙義青少年自然の家で開催。

都連盟から陶山、小幡と2名が参加した。小幡は17日のみ。合計26名の参加で開かれた。

交流会受付は13:30だったので午前中は石門めぐりを自由参加で行う。

午後の基調講演は、群馬県立自然史博物館の学芸員である「大森威宏」氏による《群馬県の植物の多様性と地理的特性—山地を中心として》

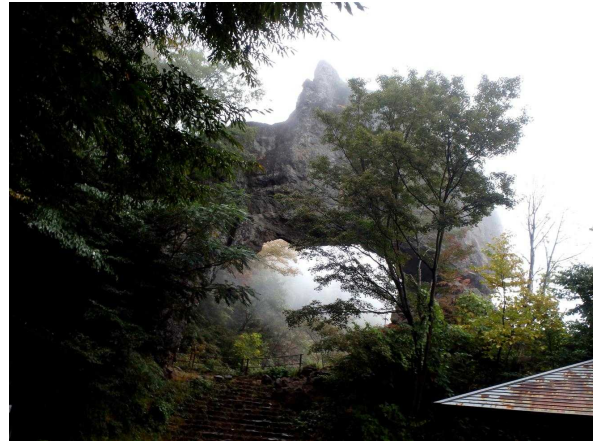
なじみの深い尾瀬、谷川連峰、浅間妙義、赤城、西上州などの地理的位置によって植物分布が違うのがとても興味深い。南限植物、北限（東限）植物が同じ県内多くで見られる。又大陸系植物と北方系（北海道）が同じ県内で見られる。とても不思議だと報告されていた。

地理的特徴と言え日本海気候の雪深い谷川や尾瀬等、浅間白根のような火山地域、妙義西上州のような岩稜地帯、温暖な関東平野などが同じ県内にあり、海に面していない内陸型であるということも特徴的である。うーむなるほど考えても見なかった。

植物の名前が覚えられなくて詳細の報告ができないが、今後勉強して覚えていきたいと思う。群馬でも特異種があり、多様性のある植物がどんどん絶滅していく恐れが多く指摘されている。群馬のカッコソウなどが新たに絶滅危惧種に指定された。

とても刺激になった基調講演であった、もっと詳しく知りたいという欲求がふつふつとわいてきた。その後各県連の活動報告、夜は交流会で夜が更けていった。

翌日は天気も良く、碓氷峠のめがね橋から熊の平へ遊歩道（アプトの道）をハイキング、旧鉄道に思いをはせて、歴史を学んだ。



都連主催の東北震災復興支援ボランティアに参加した。8月に全国自然保護講座で石巻を訪れた際、震災・津波の被災地の現状や復興の取り組みを視察したが、金華山での「みちのく潮風トレイル」コースの刈払い等ボランティア活動は悪天候の為行えなかった。震災以来一度も東北に行く機会がなかった。「仕事があったので」というのは、年に2、3度泊りの山行もしていたのだから言い訳にならない。これまで東北から離れかけていた気持ちが、定年を機に引き戻されたというのが正直なところだ。瓦礫の山との格闘の時期は過ぎた今頃。

自分以外は何度も東北に足を運んでいる参加者8名は、飯田橋から2台の車に分乗して一路石巻を目指したが、東北は結構遠い。やっと南三陸町のさんさん商店街に到着し、そこそこ観光客がいることにほっとしたもの、どの飲食店も休憩中で海の幸にはありつけず。志津川地区は相変わらず防災対策庁舎の鉄骨だけがポツンと立っており、8月よりも周りの盛り土が一段と高くなったせいか、庁舎が小さく見える。更に南下して北上川河口の大川小学校へ。石碑に刻まれた子供たちや地域住民の名前の多さに、胸がつぶれる。途中で食材を買い込み、宿泊地である水沼東部構造改善センターに到着。待っていて下さった石巻勤労者山岳会・前会長の岡さんとありあわせのごちそうを囲み、いろいろな話を伺った。

翌日は生憎の小雨だったが、水沼をぐるりと囲む「石巻緑のハイキングロード」の中の上品山(じょうぼんやま)でつつじの苗を植える作業が待っている。上品山は467mながら眺望が良い。岡さんからツルハシを使って斜面の掘り方、植え方等教わり、みな泥と汗と雨にまみれて作業した。麓から登山道を登ってきた石巻ハイキングクラブの方々、緑の少年団の子供たちとも合流。つつじ100万本プロジェクトの一環だ。作業を終えてセンターに戻ると、地元の婦人たちが熱々のトン汁とおにぎりで迎えてくれた。区長さんはじめ町内会、森林組合の方たちも大勢みえ、交流した。

午後は女川町立病院に寄り、海拔17mの高台にある病院の建物1階1.8mまで津波が来たという信じられない事実を目の当たりにした。海岸線を進み石巻漁港には、今夏完成したばかりの東洋一という巨大な魚市場が1.4kmも続いている。確実に復興は進んでいる。

夕方からは駅近くの料理屋で、8月にもお会いした石巻ハイキングクラブや宮城労山の方々との懇親会が開かれた。それぞれガス、水道、JRなどライフラインを担う要職にある方々から、腰まで、時には首まである水をかき分け職場に向かい、家の心配をする間もなく何日も泊まり込みとか、家の天井まで水が来て仕方なく向かいの家の塀の上を伝って2階に上がり夜を明かした、避難所になっている小学校に1週間詰めて看護師などの手伝いをした等々、「その時」を過ごした生の声を聴くことができた。また店の支配人からは津波ですべてが流れてしまってから店を再開するまでの苦労話も聞かせていただいた。当事者としては伝えたいことの百分の一にも満たないだろうが、私にはニュースの映像よりずっと衝撃的だった。

夜中には音を立てていた雨も朝には上がり、陽もさしていた。海岸近くの日和山に上り改めて周りを見渡すとあちこちで重機が動き、かさ上げが進んでいる。何しろ石巻は被災した八戸～千葉館山までの中で、地盤沈下が1m以上とずば抜けているという。眼下では復興住宅の建設が始まっている。市立病院は来夏の完成を目指しているという。つづいて駅近くの復興まちづくり情報交流館では被害状況と復興計画の情報をいろいろ得られた。さらに奥松島まで足を延ばした。切れ切れに残る松並木の手前には、家の土台だけがどこまでも続き、枯草が覆っていた。

地域により進み方の差はあれ、着実に復興は進んでいるが、まだまだ先は長い。しなければならないことは山とあろう。山を愛する者の一人として、これからもできることを探していきたい。



「地区連盟活動」

東京東部地区連盟ハイキング学校

登山中に突然襲いかかる疾病について

中高年登山者の増加により、登山中の怪我などの他に疾病による死亡事故の報告が全国連盟の事故報告に載るようになりました。(※労山ニュースより引用)

事例1： 北六甲・烏帽子岩をクライミング中、テラスで突然意識を失った。周囲の人が下に下し、ヘリを要請。救急病院へ搬送されたが急性心不全で死亡。(男性 52歳)

事例2： 谷川連峰・平標山を友人3人で登山。このうちのHさんは体調優れず、別行動を希望したため山頂での再会を約し、Mさんら2人と別れた。しかし登山道に倒れているHさんが他の登山者に発見され、通報を受けたMさんが引き



返してHさんを救助しようとしたが、Mさんも倒れた。2人とも病院に搬送されたが急性心不全で死亡が確認された。Mさんはベテランであった。(M男性 64歳) 他にも急性心疾患等による死亡事故が報告されています。

脳疾患、心疾患他についての登山中の疾患予防・日常的な健康管理等について、日本登山医学会認定山岳委員会副委員長をなさっておられる、草鹿ドクターをお迎えしての講演をおこないます。労山会員以外の方も歓迎します。お誘いあわせてどなたでもご参加ください。

※ 認定国際山岳医制度及び、日本登山医学会認定国内山岳医制度は、国際山岳連盟医療部会(UIAA Med Com)、国際山岳救助協議会(ICAR)、国際登山医学会(ISMM)に認定された国際山岳医と、日本登山医学会が認定する国内山岳医の認定医制度を実施しています。運営は、日本登山医学会認定医委員会が行っております。

講師 草鹿 元 (くさか・げん) ドクター

自治医科大付属さいたま医療センター脳神経外科准教授

実施日	2016年 1月 20日(水) 午後7時～9時
場所	カメラアプラザ亀戸文化センター 第一研修室 JR 総武線・東武亀戸線「亀戸駅」下車、徒歩2分
会費	無料
問い合わせ	足立 久男 Tel 03 (3629) 3472 携帯 090 (3697) 3470
主催	東部勤労者山岳連盟

2015年11月度第8回理事會報告 2015.11.9 19:30~21:25 場所 全国連盟1階會議室
出席者：五十畑、鶴沢、白井、大野、上平、岸田、中川、佐々木、芝田、島村、陶山、辻、松野、吉田

司會：上平 書記：吉田

1. 三役會議 10/18 陶山、佐々木、栗原、上平、岸田、松野
連盟費未納地区連盟・団体再請求、12/2「冬山の気象」講習会、11/15「遭難対策研究集
会」、11/16「山の用具・その歴史」講演会、自然保護（天祖山観察）、等

2. 各部署報告

(1) 事務局
①会計担当一9月末で約200万円弱未納。未納の地区連盟と団体には、12月末まで

に必ず納入するよう連絡する。(資料参照)

②カレンダー販売状況 350部 (販売115部、残部235部)

(2) 組織部

①講演会「山の用具・その歴史」11月16日(月)19:00 講師：西本武志氏

(3) 安全対策推進部

①10/24 安全対策推進部(議事録参照)

②「遭難対策研究集会」11月15日(日)10:30~16:30 国分寺労働会館(資料参照)

③冬山シーズンにあたって(安全対策推進部からお願い)(資料参照)

③事故一報 10/12まで追記(資料参照)

(4) 教育部

①教育部活動報告書(2015年度第2回代表者会議)(資料参照)

②「冬の気象を学ぶ講習会」12月2日(水)19:00 講師：若山望氏 資料代500円

(5) 広報部

都連盟ニュース No.358 原稿締切 11/23 11/27印刷発行

全国連盟の印刷機が変わり、印刷代金について確認・交渉する。作成・配布方法も

改めて検討していく。

3. 委員会報告

(1) 自然保護委員会

①天祖山下見実施 10/28、来年5月にも実施する。

②関東ブロック自然保護集会 10月17(土)・18日(日)群馬県妙義 参加：陶山・小幡

(2) 教育指導委員会

①2015年10月度教育指導委員会活動報告書、教育指導委員会活動報告書(2015年度第2

回代表者会議)、東京登山学校「第20期ハイキングリーダーコース」会計報告、講習の

まとめ、受講生アンケート(資料参照)

来期ハイキングリーダーコース実施については、教育部・教育指導委員会・三役で方針を

検討する。

②東京登山学校「第26期初級岩登りコース」日程、同受講申込書(資料参照)

1月中旬に都連盟HPおよび山岳雑誌に掲載して参加者を募集する。

(3) 海外委員会

①2015年度第2回代表者会議活動報告書(資料参照)

「海外山行交流会」(最近の海外登山とネパール地震その後のヒマラヤ山域の状況等
報告)2月4日(木)開催予定。

(4) 女性ネットワーク委員会

①2015年度第2回代表者会議活動報告書(資料参照)

「東日本女性登山交流会」10/24・25 山梨県西湖162名(内都連盟19名)参加。

「遭難対策研究集会」で大槌町菜の花プロジェクト支援ワカメを販売する。

(5) 震災復興支援委員会

①2015年10月活動報告書(資料参照)

石巻水沼地区を中心としたボランティア活動 11/7・8・9実施 8名参加

②2015年度第2回代表者会議活動報告書(資料参照)

福島県への活動移行の検討

③震災復興支援金出納明細(資料参照)

4. 審議

(1) 事故防止・安全対策行事申請

①港区連盟 夏季講習実施報告 9/13 天覧山(飯能)(資料参照)

②多摩西部地区連盟 救命救急講習会 11/21 万町一丁目会館(八王子)(資料参照)

5. 全国連盟

(1) 日本勤労者山岳連盟第32回総会 2/20・21 晴海グランドホテル(資料参照)

都連盟から代議員5名選出・登録

(2) 11月末現在の組織数提出のお願い、地方連盟組織数報告用紙(資料参照)

報告用紙書式を修正して事務局を中心に依頼をすすめる。

(3) 栄誉功労賞の贈与申請について、栄誉功労賞贈与申請書・同永年会員用(資料参照)

(4) 日本勤労者山岳連盟望年会のご案内(資料参照)

6. その他

(1) 都連盟総会(3/6開催)にあたり、各都部会・委員会・委員会・救助隊活動総括と来期方針をま
めるとともに、構成員(名簿)の各会の承認を得ておく。(上平理事長)

(2) 故佐藤昌之氏ご令室からの礼状紹介

次回理事會 12月7日(月)19:00

以上

【事故一報】

- 10月12日 西上州 四つ又山 下山途中、足を滑らせ持っていたロープと共に左に振られ右胸をひねり痛みが続く。右第5肋軟骨損傷 51歳 女性
- 10月20日 上越 雨飾山 岩場の段差で転倒左手を突き手首を傷める。左手首骨折 68歳 女性
- 10月22日 奥秩父 瑞籬山 頂上の岩場で転倒し、後頭部を強打、右手甲部裂傷した。71歳 男性
- 10月29日 南アルプス 塩見岳 頂上直下でめまい・言語不明瞭の症状。小脳梗塞 72歳男性

事故一報は、全国連盟への提出と併せて東京都連盟にもお願いいたします。

郵送：〒162-0814 東京都新宿区新小川町5番24号 FAX：03-3260-0372 E-mail：twaf@twaf.jp

★ トピックス

荣誉功劳賞



2016年2月20日～21日

全国連盟の総会が2年に1回行われます。

労山の会員になって20年以上の方を荣誉功劳賞（永年会員用）を贈与をする制度があります。すでに申請されていて荣誉功劳賞を受け取った方は対象外ですが、未だ申請されていない方がおられましたら申請願います。

申請書を

都連盟ニュースと同封して贈ります。メール配信の会は添付ファイルで用紙を送ります。

2015年11月末現在の会員数報告のお願い！

各会の会員数をご報告お願い致します。

15年度（昨年11月末）16年度（今年11月末現在）を記入

男女別人数を記入、増減を記入、

登山時報の購読数と特別基金の加入者数もあわせて記入願います。

記入用紙はニュースと一緒に送りますので宜しくお願い致します。

都連盟海外委員会からのお願い！

現在海外登山を行うときには、全国連盟の海外委員会へ計画書を提出して頂いていました。

計画書を提出しておかないと、海外での遭難の時に特別基金の申請が出来ないからです。

そこをお願いです、都連盟の海外委員会にも計画書を送ってください。今後の海外委員会の活動に活かすために尾ご協力願います。

届け先：〒162-0814 東京都 新宿区新小川町5-24 Mail：twaf@twaf.jp

❖ 大震災支援関係

- 都連盟が行っている東日本大震災支援活動 募金 / ネパール大震災支援
来年も東日本大震災ボランティア募集いたします。

- 女性ネットワークの岸田さんから 御礼の報告
三陸ワカメの販売活動

みなさんご協力ありがとうございました。おかげで103個完売し、カンパも合わせて

¥52,808円 葉の花プロジェクトの金山氏に1月25日ゆう貯で振り込みました。

大変喜ばれていました。またお願いすると思うのでよろしくと話しておきました。 岸田。

2015年12月 予定表

理事会・部会・委員会	
1	火
2	水
3	木
4	金
5	土
6	日
7	月
8	火
9	水
10	木
11	金
12	土
13	日
14	月
15	火
16	水
17	木
18	金
19	土
20	日
21	月
22	火
23	水
24	木
25	金
26	土
27	日
28	月
29	火
30	水
31	木

2016年2月 予定表

理事会・部会・委員会	
1	月
2	火
3	水
4	木
5	金
6	土
7	日
8	月
9	火
10	水
11	木
12	金
13	土
14	日
15	月
16	火
17	水
18	木
19	金
20	土
21	日
22	月
23	火
24	水
25	木
26	金
27	土
28	日
29	月

2016年1月 予定表

理事会・部会・委員会	
1	金
2	土
3	日
4	月
5	火
6	水
7	木
8	金
9	土
10	日
11	月
12	火
13	水
14	木
15	金
16	土
17	日
18	月
19	火
20	水
21	木
22	金
23	土
24	日
25	月
26	火
27	水
28	木
29	金
30	土
31	日

2016年3月 予定表

理事会・部会・委員会	
1	火
2	水
3	木
4	金
5	土
6	日
7	月
8	火
9	水
10	木
11	金
12	土
13	日
14	月
15	火
16	水
17	木
18	金
19	土
20	日
21	月
22	火
23	水
24	木
25	金
26	土
27	日
28	月
29	火
30	水
31	木

【編集後記】

山に行こうとすると、どうしても天気が気になる。11月半ばになっても雪が降らない、と思ったら北海道札幌で62年ぶりの大雪。どうなっているんだ？？史上最強のエルニーニョが発生しているという。

こんな年は暖冬であるという、では雪が降らないかと言うと平野部(特に関東平野)に大雪が降る傾向。発想を変えて雪道を歩いたことのない人のために里の山で雪上歩行訓練(練習)をしたらよいのでは、今のうちに準備して置いた方が良さそうだ。果たしてこの予想は当たるだろうか？杞憂に終わればよいのだが。来年の春に結果を待とう。 T・S